

施策の進捗管理シート

令和 7 年度

総合 体系 計画	分野	6	第 6 章	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	施策統括課	広報課
	施策No.	2	施策名	情報共有の推進	課長名 (施策統括責任者)	渡辺 恵
	関係課	総務法制課 秘書課 広報課 地域政策課				

1. 施策の目標

めざす姿 (成果目標)	効率的な情報発信と市民ニーズの積極的な把握によって、市政に市民の意向が適切に反映されている。
取組方針	市民ニーズが的確に反映された市政運営を行うため、まちづくりに関する情報を積極的に発信し、市民、事業者、市民活動団体、議会、行政の情報の共有化を推進します。あわせて、幅広い市民の意見を市政に反映させるとともに、収集した情報を適切に管理します。また、市のイメージの向上のため、市内外に本市の魅力等を発信していきます。

2. 施策の意図と成果指標

対象（誰、何を対象としているのか）*人や自然資源等	市民						
意図（この施策によって対象をどう変えるのか）	効率的な情報発信と市民ニーズの積極的な把握によって、市政に市民の意向が適切に反映されている。						
成果指標 A							単位
必要な市政情報が入手できていると感じる市民の割合							%
H30 基準	R1 計画 実績	R2 計画 実績	R3 計画 実績	R4 計画 実績	R5 計画 実績	R6 目標 実績	
66.7	67.2 64.1	67.7 65.5	68.2 64.3	68.7 62.4	69.2 67.1	69.7 83.1	
成果指標 B							単位
提言への対応数							件
H30 基準	R1 計画 実績	R2 計画 実績	R3 計画 実績	R4 計画 実績	R5 計画 実績	R6 目標 実績	
209	321 361	331 436	339 447	347 359	355 362	364 492	

3. 市民意向調査結果

施策の重要度	前回	今回	
重要である	40.1%	35.9%	↓
ある程度重要である	48.7%	51.0%	↑
あまり重要ではない	4.5%	8.6%	↑
重要ではない	0.3%	1.1%	↑
順位	24/36位	29/36位	↓

施策の満足度	前回	今回	
満足している	4.4%	4.9%	↑
どちらかといえば満足	49.2%	53.9%	↑
どちらかといえば不満	25.5%	23.5%	↓
不満である	5.6%	4.3%	↓
順位	11/36位	12/36位	↓

4. これまでの取組・成果

- ・市報さがは、手に取りたくなるような表紙や、読みたくなる特集記事を企画するとともに、読み手目線の記事構成を実施したことで、市報を読む市民の割合の向上に寄与した。
- ・ホームページは、令和3年度に閲覧速度を改善するシステム改修を行う等、利用者のユーザビリティ・アクセシビリティの向上に取り組んだこと等で、ホームページアクセス件数の向上に寄与した。
- ・各種メディアを活用した広報においては、市民等の情報入手ツールの多様化等に最適化した、より適切な広報ツールの選択が求められる中、WEB広告、SNSの活用等、対象者を意識した広報媒体を選択したことにより、市政情報が届いている市民の割合の向上に寄与した。
- ・情報共有をより効果的に実施するため、市政への理解や関心に繋がるような「市長、出勤！まちトーク」や「職員出前講座」などの取組を行っている。

5. 指標の達成状況に関する分析

【必要な市政情報が入手できていると感じる市民の割合】

情報入手ツールの多様化に対して、広報媒体の特性を活かしつつ、市報の紙面づくりやホームページの機能向上等をはかり、また、WEB広告、SNSの活用等のターゲットに応じた情報発信を強化した。これにより、必要な市政情報を届けることにつなげることができ、目標値を達成できた。

6. 今後の方向性（第3次佐賀市総合計画への反映など）

情報の大量流通の進行に伴い、興味・関心が高い情報入手する傾向が更に強まり、市政への関心の低下が懸念される中、広報媒体の特性を活かし、「自分事」として関心を持ってもらえる情報の見せ方・届け方を展開するとともに、ターゲットに応じた情報発信（デジタル広報の活用）を強化していく。

市民からの幅広い意見を施策等に活用していくために、情報共有を通じて市政に関する市民の理解を促す取組を推進していく。